

校報 すずかけ

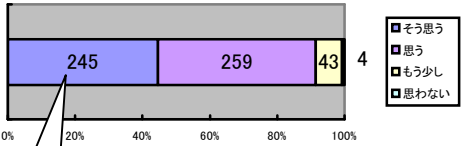
豊かな心と自らを切り拓く子どもの育成

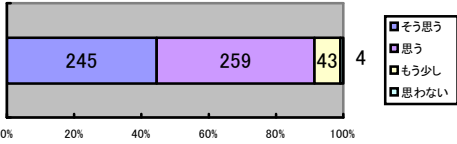
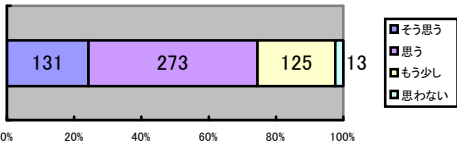
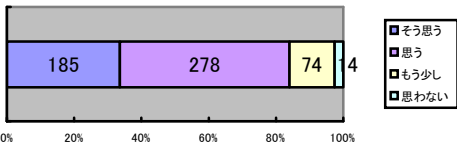
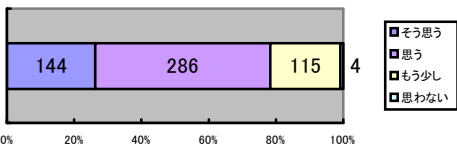
平成21年3月17日(火) 【通算 161号】 ⊗ 盛岡市立仙北小学校

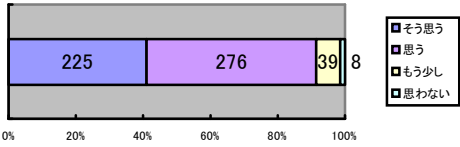
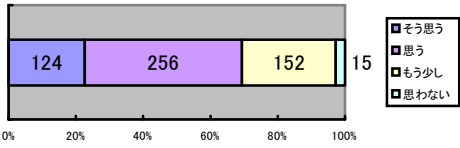
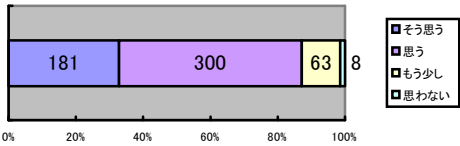
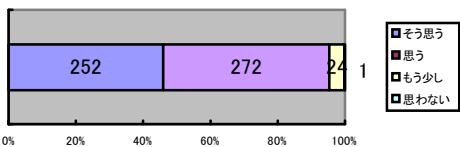
⊗ 特集1 平成20年度 「学校運営に関する評価」の考察 について

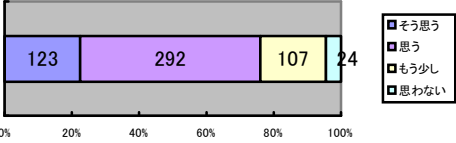
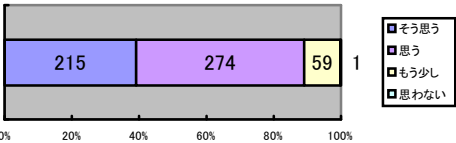
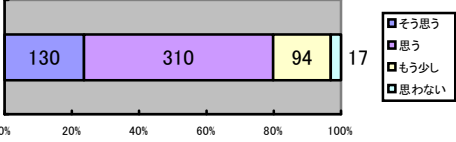
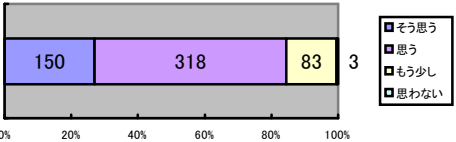
保護者の皆さんから回答いただいた「学校運営に関するアンケート」による本校教育への評価、その評価を元にした新年度の学校経営も見据えた「本校の考察」、そして地域の代表として仙北小を支えてくださる「教育振興委員会のご意見」。保護者、地域、学校が一体となって、子どものより良い成長を願う仙北小の教育についての20年度の評価と21年度の具体的な運営方針をまとめました。

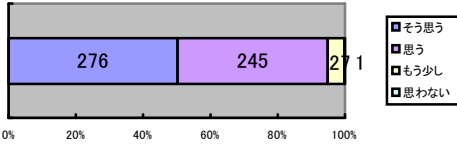
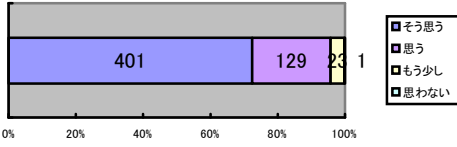
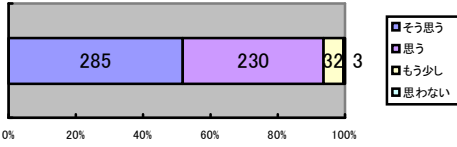
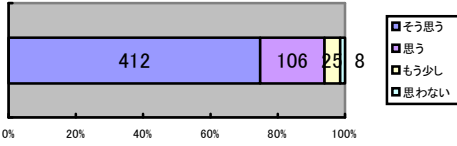
次ページ以降の「学校運営に関する評価」の考察の見方を説明します。

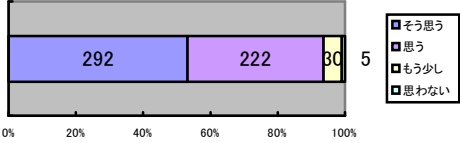
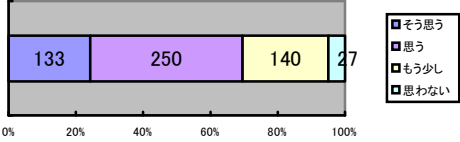
2月9日～16日に保護者から回答いただいた「学校運営に関するアンケート」の集計結果	保護者アンケートの結果をもとにした学校の考察	保護者からの評価と学校の考察への教育振興委員会の意見								
保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価								
<p>【設問1】学校と家庭の情報交流</p> <p>(1) 学校は、学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子がわかるように、校報「すずかけ」や学年通信でお知らせするよう努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>肯定的評価 91% (昨年89%)</p> <p>実数で示しています。回答率は約9割ですが項目により回答数は上下しました。</p> <p>4段階評価のうちの「そう思う」「思う」を合わせた肯定的な評価の合計です。</p>	そう思う	245	思う	259	もう少し	43	思わない	4	<p>○多くの保護者が、学校からの校報(月1回)や学年通信、学校から分かる状況や子どもの情報発信を肯定的に捉えていることがわかる。</p> <p>☆今まで同様に確かな情報を定期的且つタイムリーに校報や学年通信を通して発信していくとともに保護者の評価、分析結果から、新年度に教育活動に取り入れたい内容です。</p>	<p>Q 学級通信は発行して欲しいのか?</p> <p>A 昨年より学級通信の発行を希望する保護者が多く、教育振興委員会の席上出された質問(Q)とその回答(A)です。担任はできるだけ子どもと触れ合う時間を優先したい。</p> <p>◎学年通信で情報発信が期待できるので、新年度の学校運営の方針について、教育振興委員会としての提言です。</p>
そう思う	245									
思う	259									
もう少し	43									
思わない	4									

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問1】 学校と家庭の情報交流</p>	<p>(1) 学校は、学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子がわかるように、校報「すずかけ」や学年通信でお知らせするよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 91% (昨年89%)</p> <p>(2) 家庭では、子どもの家庭での様子の変化など(学校の授業や生活に必要なこと)を学校へ伝えるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 75% (昨年71%)</p>	<p>○多くの保護者が、学校からの校報(月1回)や学年通信(月4~5回)による学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子についての情報発信を肯定的に捉えていることがわかる。</p> <p>○保護者から必要な情報を伝えていただくよう、学校からも電話などで積極的に働きかけるよう努め家庭からの情報も増えてきている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆今まで同様に確かな情報を定期的且つタイムリーに校報や学年通信を通して発信していくとともに保護者からの情報提供も積極的に働きかけていきたい。</p>	<p>Q 学級通信は発行していないのか?</p> <p>A 通信は学年通信を主として、学級通信は原則発行しないことにしている。学年通信は週1回のペースで年40~50号ぐらい発行し子どもたちの様子をお知らせしている。学級担任はできるだけ子どもと触れ合う時間を優先したい。</p> <p>◎学年通信で情報発信が対応できるのであれば、時間を子どもと触れ合う活動に使ってほしい。家庭でも子どもとのコミュニケーションを図り会話を通して学校の様子を聞くことを大切にしよう。</p>
<p>【設問2】 子どもに対する指導①(意欲)</p>	<p>(1) 学校は、子どもの意欲を引き出すよう、ほめる、しかるなど適切な指導に努めている。</p>  <p>肯定的評価 84% (昨年83%)</p> <p>(2) 家庭では、お手伝いや家庭学習への取り組みができるよう、励ましの声掛けなどに努めている。</p>  <p>肯定的評価 78% (昨年83%)</p>	<p>○結果だけでの評価ではなく、子どもたちの活動の過程を重視しながら段階に即した指導に対し、家庭からの理解は得られていると判断できる。</p> <p>○家庭でも、励ましながら子どもを伸ばしていこうとする姿勢が伺われている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆学校も家庭も子どもの意欲を高めようと互いに努めていることから、今後も相互の情報交流を強めながら、学校と家庭の連携を図っていきたい。</p>	<p>Q 学習への意欲はどのように捉えているか?</p> <p>A 全国学力調査(対象6年生)の中で、子どもの生活や学習の習慣などを尋ねる質問紙調査があり、家庭で復習すると答えた子が53%(秋田県80%)、予習するが28%(同49%)、テスト後に間違いを直すが54%(同78%)と学習習慣の面では学力上位県と大きな差がある。</p> <p>◎家庭学習の量(時間)や内容だけでなく、学習への姿勢に対する指導も望まれる。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問3】子どもに対する指導②（学力）</p>	<p>(1) 学校は、漢字・計算など基礎・基本の習得に力を入れるなど、わかる授業に努めている。</p>  <p>肯定的評価 91% (昨年91%)</p> <p>(2) 家庭では、家庭学習の時間確保のため、子どものテレビやゲームの時間が適切であるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 69% (昨年69%)</p>	<p>○日々の教科授業や総合の時間に位置づけたパワーアップタイム（基礎基本の習得の時間）による基礎・基本の習得やTT・副担任制による学力の向上・維持の校内体制が理解されていることが伺われる。</p> <p>○昨年度と同様に、3割の保護者が子どものテレビやゲームの時間がやや不適切であると感じている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆全国学力調査で、岩手県は上位県と比較して家庭学習の時間が少ないという結果がある。学校として、子どもの家庭での過ごし方について積極的に働きかけていきたい。</p>	<p>Q 家庭学習のあり方はどのように捉えているか？</p> <p>A 各学年×10分という時間の目安とともに学習の内容も学年段階に合わせて指導している。今年は単元のテスト前に十分な復習を行い正答を高め意欲を持たせる指導に努めた。</p> <p>◎学校としての家庭学習についての統一した考えを家庭にも示し、岩手県の実態である学年が進むほど家庭学習の時間が全国より少なくなっていくという中学校へも通ずる課題を解決し学力のさらなる定着に努めてほしい。</p>
<p>【設問4】子どもに対する指導③（規律）</p>	<p>(1) 学校は、子どもに誤った行動があった場合には、厳しく指導するよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 87% (昨年88%)</p> <p>(2) 家庭では、子どもに善悪の判断などが身につくよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 95% (昨年95%)</p>	<p>○学校での子どもの誤った行動に対する毅然とした指導に対し、保護者の理解が得られていることが伺われる。</p> <p>○子どもに善悪の判断を身につけさせたいという保護者の気持ちが十分に表れた結果となっている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆だめなものはだめ、という大人の姿勢が健やかな子どもの育成に繋がることを今後も家庭と協力しながら進めていきたい。</p>	<p>Q 子どもの行動によっては親が相手の家に行って謝罪するというようなこともあるのか？</p> <p>A 状況によっては謝罪する謝罪されるという立場になる場合もあるがその場合でも適切に対応していただいている。</p> <p>◎いじめや間違っただ行動に対して厳しい指導が必要であると家庭も考えている。万引きなども最初の指導による罪悪感の形成が以後の行為を断ち切る大きな力であることなども踏まえ指導に当たってほしい。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問5】 子どもに対する指導④ (教育相談)</p>	<p>(1) 学校は、「おしゃべりタイム」などを実施し、子どもが悩みなどを相談できるような雰囲気づくりに努めている。</p>  <p>肯定的評価 76% (昨年61%)</p> <p>(2) 家庭では、学校での出来事など子どもの話を聞くよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 89% (昨年87%)</p>	<p>○今年から新たに学級担任による学級児童との面談（おしゃべりタイム）を設定した。子どもの悩みを吸い上げる取り組みが保護者にも理解され、昨年と比較して15ポイント増と最も肯定的評価が伸びた。</p> <p>○多くの家庭で子どもとの会話を大切にしており、こうした家庭の姿勢から学校と家庭とのより良い連携が築かれていくと思われる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆今年度の最重要課題と捉え取り組んできた。その取り組みに理解が得られた。来年度も気軽に相談できる場や雰囲気づくりに努めていきたい。</p>	<p>Q 全校の調査で15ポイントも向上したことは素晴らしい、具体的にはどのような取り組みをしたのか？</p> <p>A 学級担任と子どものおしゃべりタイムは学期1回、昼休みなどを利用して学級の子全員と1対1の面談形式で行った。校長と6年生は校長室で全員とおしゃべりタイムを実施した。お願い事などを話す子もいた。</p> <p>◎相談するにも信頼関係が第一である。教師と子ども、上級生と下級生など、互いに触れ合う仙北小の活動を今後も進めていってほしい。</p>
<p>【設問6】 子どもに対する指導⑤ (児童理解)</p>	<p>(1) 学校は、子どもたちの友人関係に配慮するなど、子どもが落ち着いて学校生活を送れるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 80% (昨年78%)</p> <p>(2) 家庭では、子どもの様子に目を配り、穏やかな気持ちで登校させるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 84% (昨年82%)</p>	<p>○今年度5・6年の学年主任を担任外配置とするなど複数教師による児童の理解や指導の体制をさらに強化し、子どもたちがより良く学校生活を送れるよう努めている。</p> <p>○子どもの様子に目を配り励ましたり、諭したりしながら安定した状態で我が子を生活させようと努めている家庭が多いことがわかる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆学校、家庭とも、子どもをより落ち着いた状態で生活させようと努めていることがわかり、両者の連携の基盤が一致していることが確かめられる。</p>	<p>Q 今年度のいじめの実態は？</p> <p>A 子どもからの訴えは92件(昨年110件)あり、この中には「1回だけ」、「互いにやり合った」というものも多く、この中の4件を「いじめ」と判断し対応した。いずれも現在は解決している。</p> <p>◎ケンカやいじわるは子どもの世界には普通にあることでもある。その段階では見守ることも子どもに様々な力を付けさせる方策である。勿論深刻にならないよう支援することが大切である。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問7】健康安全に関わる指導①</p>	<p>(1) 学校は、好き嫌いなく給食を食べさせるよう指導に努めている。</p>  <p>肯定的評価 95% (昨年95%)</p> <p>(2) 家庭では、朝ご飯をきちんと食べさせるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 96% (昨年95%)</p>	<p>○1年生保護者の給食試食会や栄養職員による給食指導などを通して、学校での偏食をなくする指導は家庭にも理解されていることがわかる。</p> <p>○朝ご飯をきちんと食べさせて一日のスタートを切らせようとする意識が家庭にも十分に定着していることが数値にも表れている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆ごく少数であるが朝ご飯をきちんと食べてこない子どもが見られる。今後も個別の対応をしていきたい。</p>	<p>Q 朝ご飯を食べてこない子どもは？</p> <p>A 数は少ない。家庭の生活リズムによるところが大きく、家族で夜遅くまで起きていて朝も母親も寝ている、朝ご飯の用意もない、という状況もある。食べてこない子は昼まで体力が持たず体調を崩し保健室で休むことが多い。</p> <p>◎個別に対応する必要がある。場合によっては民生委員など地域の力も活用してほしい。</p>
<p>【設問8】健康安全に関わる指導②</p>	<p>(1) 学校は、子どもの体力づくりに適切に努めている。</p>  <p>肯定的評価 94% (昨年95%)</p> <p>(2) 家庭では、歩いて登下校させるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 94% (昨年93%)</p>	<p>○休み時間には多くの子どもが思い思いの遊びや運動に興じている姿が見られ、校内マラソン大会への取り組みでも当日走られなかった子どもにも後日に完走させる手立てをとるなど、やりきる力を育てながら体力作りに努めている。</p> <p>○特別な場合を除き、子どもを歩いて登下校させている家庭が大半である。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆県内・市内では車での送迎が問題となっている学校も見られる中、歩いて通学している子が圧倒的に多い。歩くことは体力作りの基本であり、家庭の協力に感謝したい。</p>	<p>Q 運動能力・体位面での実態は？</p> <p>A 高学年の運動能力は県平均を上回っているが、低学年では全身持久力、巧緻性・パワーなどが下回っている。肥満の度合いは非常に少ない。これは仙北の子どもが歩いて通学していることにも起因していると思われる。</p> <p>◎歩いて登校している子どもが多いことは喜ばしい。登下校を見守る交通指導員や見守り協力員の方々からも、子どもたちの挨拶が励みになるとの声も聞かれている。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問9】 学校と保護者との連携</p>	<p>(1) 学校は、年3回の参観日（3回の懇談会）や年3回の期末面談の機会を設け、保護者の意見を聞くよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 94% (昨年95%)</p> <p>(2) 家庭では、地区懇談会、研修視察、すずかけ祭り、学年PTA行事、おやじの会などのPTA諸活動への参加に努めている。</p>  <p>肯定的評価 70% (昨年67%)</p>	<p>○今年度は3学期の面談も実施し、年間を通して学年の経営方針や子どもの学校生活の様子、家庭での生活の様子などを具体的に説明・協議する場を設けるようにした。</p> <p>○PTA諸活動の実施日時がどの家庭にとっても都合のいい時間とはなかなかないものであるが、それでも多くの会員が活動に参加し、役員を中心にPTAの諸活動が円滑に進められている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆今後もより良い懇談や参観のあり方について、時期や回数の工夫・改善を進めていきたい。</p>	<p>Q 参観日への家庭からの要望は？</p> <p>A 来年度は3学期の参観日も設けるとともに授業参観や学校行事、長期休業明けの作品展なども含め月に一度は学校に来ていただく機会を設定したい。</p> <p>◎3学期の面談を設けたことは1年のまとめや新学期への課題を明らかにする上で有効ではないか、その観点から3学期の参観日もやはり必要ではないか。地区懇談会はもっと「地区」を前面に出した会でもいいのではないか。</p>
<p>【設問10】 (1) お子さんが学校で一番楽しみにしていることは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と遊んだり話したりすること。 ○ 好きな教科を勉強すること。 ○ おいしい給食を食べること。 ○ マーチングや合唱、スポーツクラブで活動すること。 ○ 先生と勉強したり遊んだりすること。 ○ 図書館の本を読むこと。 ○ 運動会などの行事に参加すること。 ○ なかよしタイムで上級生・下級生と遊ぶこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃべりタイム ・ スピーチ ・ 先生に褒められること ・ なわとび ・ 先生の話 ・ 全部 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【設問10】の回答の○印は、多数の回答が寄せられた項目です。 ・印は、少数の回答です。</p> </div>	<p>○多くの保護者は子どもが学校で楽しみにしていることを把握している。</p> <p>○楽しみの一番は友達との交流であり、さらに好きな教科の学習、給食、先生との触れ合いなどが続く。低学年では上級生と遊ぶなかよしタイムを、高学年では課外クラブの活動を楽しみにしていることが伺える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆友達と遊んだり勉強したりという、学校本来の姿が子どもたちにとっても楽しいものであることが昨年に続き確認できた。子どもの思い、保護者の願いに応えるよう、教育の本質を今後も追求していきたい。</p>	<p>Q 他の学年との交流とは？</p> <p>A 6年と1年、5年と2年、4年と3年が「なかよしタイム」では交流している。</p> <p>◎同級生の友達や異学年の子どもと触れ合う活動を一番の楽しみにしていると聞いてホッとする思いである。多人数の学校の良さが垣間見られる。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【10】 【2】 お子さんを仙北に入れてよかったと思うことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが楽しく通学している。 ○ たくさんの友達が出来た。 ○ 多くの子どもたちと触れあえる。 ○ 先生との信頼関係がある。 ○ 先生が学習の定着に努めている。 ○ 先生が熱心 ○ 対応が早い、丁寧である。 ○ TTや副担任制・教科担任制 ○ サポートの先生がいる ○ 課外クラブ ○ スポーツと学習のバランス ○ 異学年との交流が行われている。 ○ 成果あるいろいろな取り組み ○ 地域と関わる活動が行われている。 ○ 地域が子どもを見守ってくれる。 ○ 安全に通学できる。 ○ 温かくおいしい給食が食べられる。 ○ 自分の母校である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食費完納 ・ マスタープリント ・ 転入した時の対応が良かった。 	<p>○子どもが喜んで登校していることを第一に、さらに本校が長年取り入れてきた学習指導法や課外クラブ・地域交流などの活動が保護者にも認められていることが伺える。また地域への安心感が学校への信頼に結びついている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆本校が長年培ってきた教育方針と時流に即した指導のあり方を、今後も家庭や地域のご理解ご協力を得ながら進めていきたい。</p>	<p>Q お父さんお母さんが仙北小の卒業生という親さんも多いですね。</p> <p>A 正確な数はつかんでいないが自分も卒業生という保護者の声はよく聞く。仙北小、仙北町を愛していることを感じる人が多い。</p> <p>⇒ ◎先生と子ども、上級生と下級生、学校と地域、どの関わりも大切にしたい教育活動を今後も進めていきたい。</p>
<p>【10】 【3】 お子さんをさらに成長させるため学校に要望したいことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後の個別指導 ・ 宿題を多く ○ 基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語学習 ・ 福祉や奉仕活動 ・ スキー学習 ・ 発表力を付ける作文指導 ・ 音楽など芸術面の指導 ・ 読書を増やす。 ・ 担任の指導の仕方に差がある。 ・ 厳しい指導 ・ どんどん叱ってほしい。 ・ 思いやりの心を育てる指導 ・ いいところを伸ばす指導 ・ 目立たない子への声かけ ・ 競争心を持たせる指導 ・ 一人一人に自信をつけさせる。 ・ おしゃべりタイムを増やす。 ○ 3学期の参観日 ○ 学校での様子を見る機会を多く <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの作品を見る機会 ○ 学級通信の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みのプール開放を多く。 ・ 地域に密着した行事 ・ 下校時間を早くしてほしい。 	<p>○学習については、さらなる基礎・基本の定着を望まれている。また表現力に関わる指導の充実も求められている。</p> <p>○生徒指導については、子どもへの指導をもっと厳しく、さらに関わりをもっと密に、という意見が出されている。</p> <p>○学校に来る機会を多くしてほしいという要望もある。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆今後も本校の教育活動に反映できるものを真摯に検討していきたい。</p>	<p>Q 学習指導要領の改訂に伴い、新年度の授業時数などはどのようになるのか？</p> <p>A 新しい学習指導要領は2年後の平成23年度に完全実施となるが21・22年度から移行措置として指導内容や授業時数が段階的に変わっていく。来年度は全学年とも週1時間授業が増え、英語学習は5・6年生で年間25時間学習する予定である。</p> <p>⇒ ◎新学習指導要領実施に関わる教育活動の変更点などは家庭にも説明し、今後も相互連携を図りながら教育活動を進めてほしい。</p>

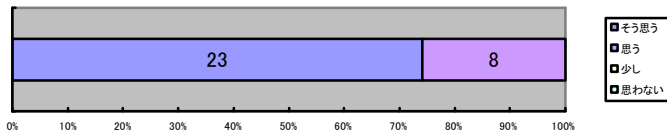
❁ 特集2

平成20年度「仙北小・学びプランの評価」

ここからの項は、本校教員による「仙北小・学びプランの評価」です。家庭にもお願いしているはげましカードの重点●12項目について、担任・副担任が自己評価しました。12項目のうち後半4項目は、家庭での取り組み内容ですが、子どもと家庭の「はげましカード」の評価をもとに判断しています。

学びプラン「学校」の1・2は、●を2分割して項目を設定しています。 この印の項目は「はげましカード」に掲げている項目です。		評価結果に基づき、新年度の教育活動に取り入れたい内容です。
学びプラン「学校」	<p>1 ● 地域学習を総合（生活科）の学習の中に位置づけ、地域に住む方々との関わりについて学ぶことを大切にしているか。</p> <p>肯定的評価 91% (昨年73%)</p>	<p>☆新年度から総合の時間を使って英語学習が実施される（5・6年生25時間）が、地域学習は今後も地域や学習ボランティアの皆さんの協力も得ながら、充実した内容にしていきたい。</p>
	<p>岩手・盛岡の先人について指導しているか。</p> <p>肯定的評価 97% (昨年43%)</p>	<p>☆昨年肯定的評価が最も低い項目であったが、全学年の指導内容を明らかにしながら取り組んできた。先人教育の充実は盛岡市の教育方針の一つでもあり、今後も学校体制として取り組んでいきたい。</p>
	<p>● 不登校0を目指し子どもの心の理解に努め、心のつまずきへの早期対応をしているか。</p> <p>肯定的評価 93% (昨年100%)</p>	<p>☆今年度は不登校（年間欠席30日以上）児童は「0」とはならなかった。不登校など子どもの心の面でのつまずきの解決には、早期の対応が不可欠であり、今後も家庭と連携して早期解決に努めたい。</p>
	<p>学級の所属間や連帯感を育てるため、なかまの日を設定し、教師と子どもたちとの触れあう時間を大切にしているか。</p> <p>肯定的評価 93% (昨年86%)</p>	<p>☆なかまの日の他、おしゃべりタイムも設定し、子どもの心の理解のために教師と子どもが触れあう時間を増やし活動を充実させてきた。今後もこうした時間を大切にしていきたい。</p>
<p>2 ● 読む・書く活動を位置づけた国語の授業を日常的に行っているか。</p> <p>肯定的評価 91% (昨年93%)</p>	<p>☆読み書きは国語に限らず全ての学習の基本とも言える領域である。これまでも続けてきたように、国語の授業研究も積み重ねながら表現力の向上にも結びつけていきたい。</p>	

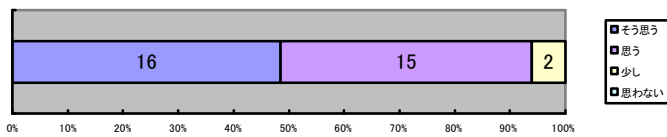
漢字の確実な習得のためマスターテストを行い、全ての子どもが学年必須の漢字を習得するよう努めたか。



肯定的評価 100% (昨年96%)

☆今年度は1年を通して学年に応じて取り組みを進め、9割以上の習得ができた子の割合が92% (昨年91%) に達した。目標に向かって学習し、それを達成する喜びを味わうことなどを通して、今後も子どもたちが意欲をもって取り組むよう努めていきたい。

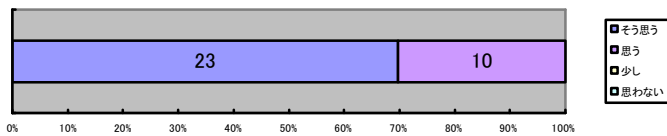
算数で一人一人の考える力を伸ばすために指導の工夫に努めたか。



肯定的評価 93% (昨年93%)

☆TTや少人数指導などの指導形態の工夫の他、問題の提示や発問の仕方、既習事項の活用のあり方、楽しく学ぶ雰囲気作りなど、授業全般にわたり工夫・改善に努め、今後も基礎・基本の確実な定着に努めていきたい。

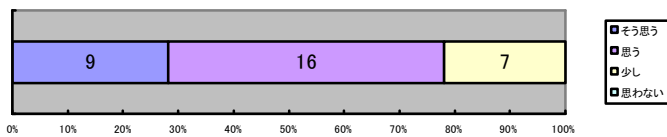
基礎的な計算技能の確実な定着のためマスターテストを行い、全ての子どもが学年必須の計算を習得するよう努めたか。



肯定的評価 100% (昨年93%)

☆家庭の協力もあり子どもたちも意欲的に取り組んだ。9割以上の習得児童の割合は全校で94% (昨年90%) であった。月毎の小テストなどの実施も含め1年間を見通した確実な習得を図っていききたい。

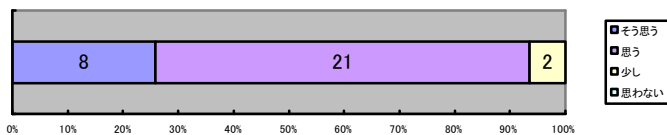
3 ● 5A(あいさつ、歩き方、後始末、合図、集まり)などの基本的な生活習慣を身につけられるよう指導したか。



肯定的評価 78% (昨年93%)

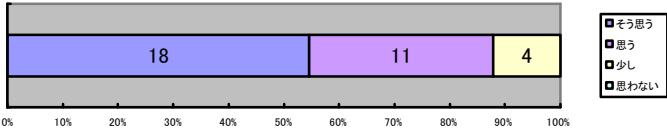
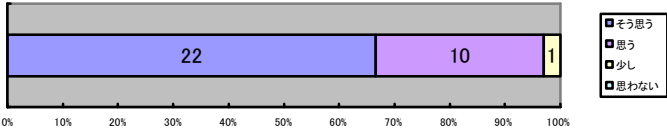
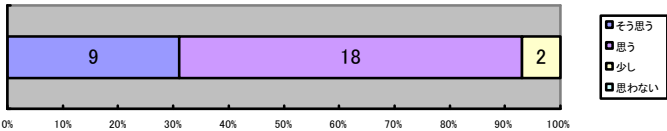
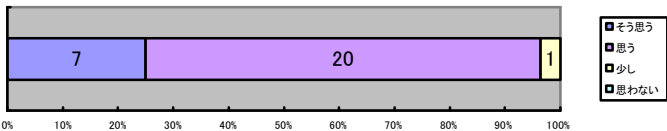
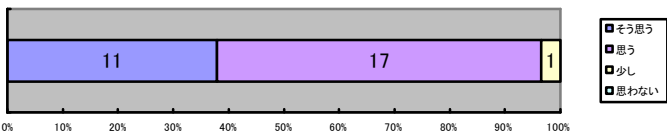
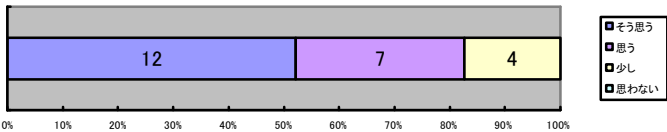
☆肯定的評価が最も低い結果になった。3年生以下の低学年での歩き方などの評価が低くなった。日常の様々な活動場面で継続的に指導し、意識化を図ることで習慣化につなげていきたい。

● 朝の10分間読書の充実に努めたか。



肯定的評価 93% (昨年97%)

☆教師も率先して朝読書を行うとともに、伝記を読む月間の設定など、先人教育・キャリア教育とも関わらせながら読書活動に取り組んでいきたい。

	<p>4 ● マラソン大会など持久力や根気強さを伸ばす運動を積極的に取り入れたか。</p>  <p>肯定的評価 88% (昨年97%)</p>	<p>☆秋の学級対抗のマラソン大会を目指して競い合い励まし合いながら取り組んできた。運動を苦手と感じている子にも配慮し、短縄・長縄びこも継続して取り組み、体力・運動能力の向上に努めていきたい。</p>
	<p>● 残食0の日を決め、食べ残しを少なくするよう給食指導をしたか。</p>  <p>肯定的評価 97% (昨年90%)</p>	<p>☆残食が少なくなってきた。栄養を考えバランスよく食べること、朝昼晩の3食が大切なことなど、食の教育としての給食指導を今後も進めていきたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学びプラン「家庭」</p>	<p>1 ● 学校での出来事、がんばっていることなど、子どもの話を聞くよう努めているか。</p>  <p>肯定的評価 93% (昨年97%)</p>	<p>☆2年目を迎えたはげましカードの取り組みであるが、家庭での取り組みとしてお願いした4つの項目とも家庭での評価も高く、担任もまた、その効果を実感しているところである。</p>
	<p>2 ● 家庭学習を10分×学年を目安に学習させるよう努めているか。</p>  <p>肯定的評価 97% (昨年97%)</p>	<p>学校と家庭が連携して、子どもの確かな成長を目指して取り組んでいく内容を具体的に示したこの「仙北小・学びプラン」はげましカードを来年度も継続していきたい。</p>
	<p>3 ● おはようございますなどの挨拶がきちんと出来るよう声掛けに努めているか。</p>  <p>肯定的評価 97% (昨年100%)</p>	
	<p>4 ● 朝ご飯をしっかり食べさせるよう努めているか。</p>  <p>肯定的評価 88% (昨年93%)</p>	

